

## 福祉の学習推進教材 概要資料（R6作成版）

### 1. 授業名

『障がい者（車いすユーザー）の普段の暮らしから「ふくし」を学ぼう』（45分）

<https://youtu.be/MsSJaniyFwU?si=9lwMrSvB2d60BcA6>

### 2. 福祉の学習推進教材の概要

経過時間	場面・概要・ナレーション	
00:00 ～ 00:08	社会福祉法人北海道社会福祉協議会の文字	
会話している風景など		
00:09 ～ 00:52	①大谷さんの紹介	概要 大谷さんの障がいや生活の概要、ヘルパーによる支援について
	ナレーション 今回は普段、車椅子を使用している大谷さんの暮らしの様子を紹介します。車椅子でも生活がしやすくなる工夫や障がいがあっても自分の力でできることが沢山あることを皆さんに知って貰いたいと思います。大谷さんには「脳性まひ」という障がいがあります。立って歩くことや手を自分の思うように動かすことが難しいので、食事やお風呂などはホームヘルパー（通称ヘルパーさん）の力を借ります。ホームヘルパーとは、障がい者や高齢者のご自宅へ出向き、自立した生活が送れるように、日常生活のサポートや身体介護を行う人たちです。	
雪道の移動		
00:53 ～ 01:23	①車椅子（タイヤ）の工夫	概要 電動車いすや冬用タイヤなど、雪道でも自分で移動できるための工夫について
	ナレーション 大谷さんが外出から戻ってきました。車椅子は大谷さんが自分ひとりで移動できるように電動式で、操作するための運転レバーが付いています。雪道を移動することも可能です。自動車と同じく冬用のタイヤに交換することで雪道の移動ができるよう工夫がされています。また、1回の充電で丸1日、使用することが可能となっています。	
玄関		
01:24 ～ 01:45	①鍵の開け閉め	概要 スマートフォンを使って、家の鍵を自分で操作する工夫について
	ナレーション 玄関の鍵の開け閉めはスマートフォンのアプリを使用します。外出から戻ったときはヘルパーさんが鍵を開け閉めしますが、家の中にいるときは大谷さんが自分のスマートフォンを操作して開け閉めします。	
01:46 ～ 02:11	②車椅子の乗り移り	概要 外出用と自宅用の車いすを使い分け、自分で乗り移る工夫や玄関の設備について
	ナレーション 普段は外出用と自宅用で車椅子を使い分けています。家の中が汚れないためでもあります。自宅用の方が形としては小さく、小回りが利きやすいです。車椅子の乗り換えも大谷さんは自分でできます。玄関にはドアを開けたままにするストッパーや手すりを付けることで玄関の出入りを楽にする工夫がされています。	
リビング		
02:12 ～ 02:38	①椅子の乗り移り ②ゲームの様子	概要 段差のない家のづくりや、テレビ・ゲームなど日常生活の様子について
	ナレーション	

	次にリビングです。基本的に家の中には段差がなく車いすでも通りやすい作りになっています。椅子も自分で座ることが可能です。普段は椅子に座ってゆっくりテレビを見たり、ゲームを楽しんで過ごしています。お休みの日は友だちとお出かけをしたり、サッカーや野球を観戦することも趣味の一つです。	
02:39 ～ 02:55	③机の工夫	概要
		高さを調整できる机や、ヘルパーの支援を受ける様子について
ナレーション		
食事をするときに使う机はその時々で使いやすいように高さを変えることができます。何かを食べたいときや飲み物を飲みたいときはヘルパーさんにお手伝いしてもらいます。		
02:56 ～ 03:16	④仕事の様子 (PC作業)	概要
		大谷さんの仕事の仕方について
ナレーション		
大谷さんは普段、会社員として、自宅でパソコンを使ってお仕事をしています。キーボードやマウスの操作も全て自分の足を使ってできます。IT関係のお仕事をしていて、文章を入力したり、HPを制作などを担当しています。		
03:17 ～ 03:29	⑤インターフオンの工夫	概要
		車いすに乗ったまま対応できるよう工夫されたインターフォンについて
ナレーション		
家にお客さんが来たとき、足で操作しやすいようにインターフォンは低い位置に設置されています。これで車いすに乗っている状態でもお客さんを確認でき対応が可能です。		
トイレ		
03:30 ～ 03:41	①ヘルパーさんが居る場合	概要
		必要に応じて、トイレでヘルパーから受けている支援について
ナレーション		
トイレがしたいとき、ヘルパーさんがいる場合は少しだけお手伝いをしてもらうことがあります。		
03:42 ～ 03:52	②自身で済ます場合	概要
		自分の力でトイレを利用できるように工夫されている設備について
ナレーション		
自分の力でもトイレはできます。トイレのボタンも自分の足で操作しやすいように低い位置に設置されています。		
お風呂・洗面台		
03:53 ～ 04:18	①お風呂までの移動 ②シャワーで洗う場面	概要
		お風呂場を安全に利用する工夫やヘルパーの支援について
ナレーション		
お風呂はヘルパーさんのお手伝いが必要です。大谷さんが痛かったり寒くならないように、最初にマットを敷きます。お風呂場に移動した後は、ヘルパーさんにシャンプーや身体を洗ってもらい、着替えまでをお手伝いして貰います。ヘルパーさんのお陰で毎日お風呂に入ることができています。		
04:19 ～ 04:28	③ドライヤー・髭剃り	概要
		大谷さんの障がいや生活の概要、ヘルパーによる支援について
ナレーション		
お風呂はヘルパーさんのお手伝いが必要です。大谷さんが痛かったり寒くならないように、最初にマットを敷きます。お風呂場に移動した後は、ヘルパーさんにシャンプーや身体を洗ってもらい、着替えまでをお手伝いして貰います。ヘルパーさんのお陰で毎日お風呂に入ることができています。		
04:29 ～ 04:35	④歯磨き	概要
		準備の支援を受けつつ、歯磨きやうがいは自分で行う様子。

	ナレーション	
	歯磨きは準備だけして貰えば、自分で磨きます。うがいも自分でできます。	
寝室		
00:09 ～ 00:52	①ベッドへの移動	概要 自分でベッドへ移動し休む様子について
	ナレーション 一日の最後はベッドに移動して眠りに付きます。ベッドの高さは乗り降りしやすいように少し低めですが、一般的に使用されるベッドと同じものを使っています。	
会話している風景など		
00:09 ～ 00:52	①締め	概要 動画全体のまとめの言葉
	ナレーション 以上のように、車椅子でも生活がしやすい工夫や障がいがあっても自分の力でできること、誰かに支えてもらうだけでなく、仕事などを通じて大谷さんが誰かの支えになっていることが沢山あることが分かります。	
05:18 ～ 05:24	社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 の文字	